

楽しみ方が広がる 日本のジオパーク

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「マスク着用」「密閉・密集・密接の回避」を心掛ける生活が続いています。日本のジオパークの活動でも、今年10月に予定されていた「日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海（しんじこなかうみ）大会」が2021年10月に延期となったほか、各地の施設休館や体験イベント・ツアーの中止が相次いだ

1年でした。

ジオパークでは、その場所ならではの大地の特徴を見られることを大切にしていますが、長距離の移動や集団での行動が制限され、現地に行くことが難しい今、ジオパークの魅力が伝わる、新しい楽しみ方が広がってきています。

日本ジオパークネットワークのHPにある「おうちでジオパーク」のページに、大地の成り立ちを学べる学習コンテンツや、動画配信の情報がまとめられています。
各ジオパークの施設や、おすすめの場所を見ることができます。



子ども向け「塗り絵」「ペーパークラフト」
三笠ジオパーク「おうちシリーズ（あんもないと塗り絵）」、「南アルプスのいきもの塗り絵」などがダウンロードできます。



「ふるさと地球の絶景プロジェクト」
日本各地の見所を定点撮影し、自然の音や風景が楽しめる動画が見られます。最近では、日本以外のアジア圏の動画も増えてきました。



洞爺湖有珠山ジオパークでも！

「みんなでつくろう！洞爺湖水中模型」動画公開中！

夏休みステイホームイベントとして実施した洞爺湖水中模型づくり。組み立て作業は、伊達緑丘高校の皆さんが頑張ってくれた完成までの様子を動画で公開しています。

完成した模型は「洞爺湖観光情報センター」3階で展示していますので、ぜひ、見に来てください。



洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の4つの市町の取り組みです。大地の見どころの保全、観光振興、教育活動などを通して、この地域の魅力を伝えています。